

食材提供で活動を支援



ボランティア団体へ食材を渡した工藤友良組合長（右）

営農課は4月25日、黒石子ども食堂実行委員会と社会福祉法人睦会が運営している「子ども食堂」を支援するため、食材の提供を実施しました。

食材はみらい米まっしぐら10袋（1袋／10^{kg}）とりんごジュース10箱（1箱／30本）。三浦正幹営農課長は「今後も子ども食堂を運営する地域のボランティア団体を支援するため、農作物の提供などを実施していく」と話しました。

かまくらりんご掘り起こし



JAの直売所「あっぷるはうす・おふくろの店」の会員で構成するかまくらりんごの会は4月18日、黒石市沖揚平地区で雪の中に埋め冬越させたりんご、「かまくらりんご」を掘り起こす作業を行いました。

「かまくらりんご」は今年で17年目となり、即売会ではすぐに完売する人気商品です。同会の工藤朋恵会長は「昨年の猛暑が、リンゴの品質や食味に影響しないか心配したが、瑞々しくて甘い『かまくらりんご』ができた。即売会では多くの人に購入してもらい、味を楽しんでほしい」と笑顔で話しました。

4月20日には即売会を開き、りんごを買い求める多くの来場者で賑わいました。



「かまくらりんご」を掘り起こした会員ら



「かまくらりんご」の即売会